

1 適用範囲
本仕様書は、屋上露出配管用基礎ブロックDVG3007、DVG3010について適用する。

2 製品の種類
製品の種類は、表-1に示す。

表-1

品名	品番	別紙添付図番
ダクタベース	DVG3007	T-20200729-5
ダクタベース	DVG3010	T-20200729-4

3 形状・寸法

基礎ブロックの形状・寸法は、別紙添付図による。

外形寸法
高さ70mm×幅110mm・80mm×長さ300
高さ100mm×幅110mm・80mm×長さ300

4 構造

DVG3007、DVG3010は5項に示す材料で形成され、コンクリート基礎ブロック上面に溶融亜鉛メッキ(JIS H 8641 2種35 HDZ35)のレールを備え付け、基礎ブロック底面にゴムベースを貼り付けています。

5 使用材料

基礎ブロックに使用する材料は表-2の示す通りとする。
コンクリートの材料、配合は別紙配合表による。

表-2

部材名	材 質
コンクリート	呼び強度24=24N/mm ²
レール	JIS H 8641 2種 35 HDZ35
ゴムマット	NR JIS K 6380

6 品質

6-1 本体、外観

項目	品 質 規 格
外観	①基礎ブロック表面は、有害な亀裂、カケ無きこと
	②表面には、著しい歪みが無く、かつ上面は平滑であること。
圧縮試験	24N/mm ² 以上 蒸気養生後14日間の自然養生
スランプ試験	18.0±2.5cm

7 試験・検査方法

7-1 外観検査:全数検査

目視にて行い、亀裂、カケ、その他著しい欠陥の無いことを確認する。

【カケ不良】



製品に衝撃が加わりかけ落ちる不良。
一辺に2ヶ所以内、1ヶ所5mm以下は
良品とする。

【亀裂不良】



製造不良により強度不足で亀裂が入る。
亀裂は全て不良とする。

7-2 寸法検査:月一度実施する

ノギス・スケール等の測定工具を用いて測定し、各部の寸法が許容差(±3mm)以内であることを確認する。

ノギスなど測定工具、校正記録を準備、確認すること

7-3 性能試験:月一度実施する

a) 圧縮試験

JISA1108(コンクリートの圧縮強度試験方法)に基づき試験を行う。
試験体は3体としそのどれもが、品質規格以上であること。
材料入荷後、または月初に試験を実施する。

b) スランプ試験

JISA1101(コンクリートのスランプ試験方法)に基づき試験を行い、
品質規格値以内であること。

8 不合格時の処置

8-1 外観検査

外観検査にて不合格となったものは、廃棄処分とする。

8-2 寸法検査

寸法検査にて不合格が発見された場合、不合格品は廃棄処分とする。

外形寸法検査にて不合格が発見された場合、全数検査を行い不合格品は廃棄処分とする。

8-3 性能試験

性能試験にて不合格となった場合、そのロットを全数廃棄処分とする。

9 梱包荷姿・表示

DVG3007、DVG3010は段ボール箱に2個入れ、隙間に緩衝材を入れる。

箱側面に製品ラベルを貼り付け、下記項目をを表示する。

- 1) 品名
- 2) 品番
- 3) 数量
- 4) スギモトマーク

DVG3007 ブロック × 2個入り

DVG3010 ブロック × 2個入り



欠け防止用緩衝材

梱包荷姿



製品ラベル

